

「心豊かで潤いと活力のあるまち」を目指す

奥出雲町初代町長 岩田町政がスタート



五月一日に行われた奥出雲町長選挙で初当選し、初代町長に就任した岩田一郎町長が五月九日、役場に初登庁しました。岩田町長は、仁多、横田両庁舎の玄関で女性職員から花束を受け取り、多くの職員、関係者に拍手で出迎えられました。両庁舎で全職員を前にして行われた就任式では、合併協議の難航や国の三位一体改革などの厳しい財政状況を背景に「新町の町政運営に当たり、まず町の一体感を醸成し、町民の融和を図ることを最優先に全力を尽くしたい。また、新町建設計画を実現するため、人件費の抑制と業務の効率化を図り財政の健全化に努め、更に新町の一体感を図るため旧両町間の生活基盤格差の是正を優先的に実施したい」と挨拶を行いました。

町長就任の挨拶

町長就任にあたりまして一言「挨拶申し上げます。旧仁多、横田両町が去る三月三十一日に合併し、誕生した奥出雲町の町長選挙におきまして、私はこれまで長らく町政に携わらせていただき、健全財政を堅持し大方の事業も終え、合併も成就しましたので新町の町長は新しいリーダーの方でと考え固辞して参りましたが、

多くの有志の方々、団体の皆様から推薦、再度の要請をいただき、合併を推進した責任もあり、熟慮の末に立候補を決定いたしましたし、多くの町民の皆様から温かいご支援を賜り、新町の町政を担当することとなりました。今後、当面します町政運営に当たりましては、新町の一体感を醸成し、町民の融和を図ることを最優先に、

誠心誠意全力を尽して参る考えでありますので、町民の皆様の格別なるご支援、ご協力を頂きますよう先ずもってお願いたします。このたび誕生した「奥出雲町」は古くから息づいてきた歴史や生活文化、特徴ある産業、また美しい豊かな自然と多くの観光資源などがあり、新町建設計画の基本方針の中でも、こうした地域のあらゆる資源を利活用し、住民一人一人がこの地域で真に豊かさを感じ、潤いと活力に満ちたまちづくりを目指すべくとじております。しかし、我が国の財政は、国の債務が七百五十一兆円と歳入の十六倍を越す先進国の中でも最悪の状況で、国の平成十七年度の歳入四十四兆円に対し、歳出は八十二兆円と毎年三十兆円を越す国債を発行し、収支均衡を図るといふ厳しい財政状況であります。

一方、歳入のほとんどを国の地方交付税に依存する本町は、今後、歳入の削減は避けられず、また、県の財政状況も悪化しており、様々な施策、補助金が削減されており、こうした中において、新町は一体化のための基盤整備を進める必要があります。

また、合併後の旧両町の基金、債務、補助金、使用料等の調整をはじめ、開パイ、第三セクターの健全化など新たな課題もありません。

こうした相反する課題を抱えた新町のスタートに当たり、合併効果を最大限に発揮し、新町建設計画を着実に実現していくためには、新町において財政の健全化が大前提で、更なる行財政改革が必要であり、同時に、山積した諸施策の実施が求められております。

また、合併後に調整すべき事項も多く持ち越されておられ、これまでの行

政経験と国・県との人脈を最大限に活かし、補助金有利な起債等積極的に導入し、道路改良、ほ場、上下水道など生活基盤の整備をはじめ、新町の基幹産業でもある農業を中心に所得の向上と雇用の確保に努めて参らねばなりません。

取り組みの一つは財政の健全化と町行政についてであります。まず財政健全化のためには、人件費の抑制が先決であります。

これまで職員組合交渉では正でできなかった「給与と制度」を新町の発足時改め、国家公務員給与に準じた職務職階制に是正（次ページ・別表参照）、

辞令交付し、新町の職員給与の適正化を行いました。給与の適正化を行いましたが、今後、職員数の削減も図らねばなりません。職員にも、十分理解を求めますとともに、町政の円滑な執行のため、職員

とともに常に問題意識を持ち、自己研鑽、接遇の徹底等に努め、町民の皆様への期待に応えて参る考えであります。

また、新町においては組織の見直しによる行政効率を高めるため専任補佐制を敷き、課長、専任補佐が課を掌握し、問題の提起と担当の係の仕事の進捗状況を見ながら忙しい係の仕事を全員で補完し、課全体の効率を上げ、限られた財源の中で徹底的に無駄を省きながら複雑・

多様化しているニーズに対し、きめ細やかな施策を行い、これまで以上の住民サービスの提供ができるよう、合併に伴う組織の統合・連携など、何より行政運営の効率化を図ってまいります。二つ目は新町の一体感の醸成であります。

そのため、選挙公約しました「有線テレビ、インターネット網の拡充」、「携帯電話の通話範囲の

拡大」のための事業を優先的に実施するとともに、合併による行政サービスの均衡調整を行うため、本年度の予算編成に当たっては、臨時職員、嘱託職員の待遇についてその処遇を改善するほか、学校、各種団体等への補助金の均衡を図り、それら団体の活性化、再編・統合のための活動経費を助成していく考えであります。

また、奥出雲町の豊富な観光資源を活用するための諸施策につきましても積極的に取り組み、観光・レクリエーション施設などによる交流人口の増加に努めて参る所存であります。

そのほか、自治会の機能を拡充し、併せて町政座談会を横田地域でも行い、自治会を通じた要望の取りまとめや町民の皆様の意見集約にも努めて参りたいと考えております。いづれにしましても、本年度予算の編成に当た

りましては、人件費をはじめとする経常的な経費を削減することで合併効果を最大限に発揮し、新町建設計画を着実に実現していくための建設事業費やコミュニケーション事業を可能な限り盛り込むこととしております。

私はこれまで旧仁多町を島根県一の町にと言ってきましたが、これからは奥出雲町を島根県一の町とするよう、新町建設計画の「心豊かで潤いと活力のあるまちづくり」の実現に向け、町民の皆様、議会、職員が一体となり諸課題に積極的に取り組んで参る所存であります。皆様の新町まちづくりへの一層のご支援、ご協力を心から重ねてお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

奥出雲町長 岩田 一郎